

身近な施設への木材利用で木の良さを伝える【R3年度繰越事業】

- ▶ 本県では、試験機関（県木材利用技術センター）等が開発した安全で耐久性に優れた加工技術を活用した木材を公共施設において利用することにより、市町村等における木材利用の取組を推進する方針。
- ▶ 令和4年度においては、スギの芯去り材を活用した木製遊具の設置を行った。
- ▶ 公共施設での積極的な木材利用を通して施設利用者の安全性及び快適性を確保し、県民の木材利用の理解醸成及び木材利用の推進を図った。

□ 事業内容

1 人と自然にやさしい公共施設木材利用推進モデル事業

【事業費】5,863千円（全額譲与税）

【実績】木製遊具の更新



マウンテンクライム



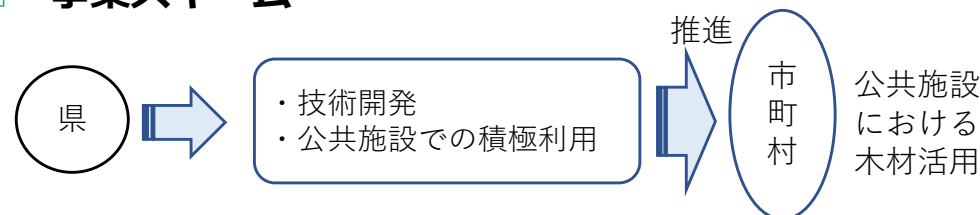
クライムネット



木製平均台

（木製遊具の設置場所）
宮崎県小林市細野字山中之前
ひなもりオートキャンプ場

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- スギの芯去り材を活用した木製遊具の設置
公共広場等における木製遊具の設置は市民に対して木への理解を深める場となるが、木製遊具の普及には安全に配慮した構造が求められる。このため、メーカー等と連携して本県の特産でもあるスギの芯去り材を木製遊具の一部に活用した。芯去り材は耐腐朽性の向上、スギの大径材の利活用に繋がると考えられ、市町村での利用のモデルとなり得る。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：184,332千円	②私有林人工林面積（※1）：176,375ha
③人口（※2）：1,069,576人	④林業就業者数（※2）：3,587人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より